

「ちえの輪」は知恵をだしあって活動する地域教育会議の広報紙です

# ちえの輪

vol.99

2025年3月31日発行 多摩区地域教育会議広報紙編集委員会

## Index

- P1 令和6年度活動報告  
ネットワーク会議
- P2,3 語room  
教育を語るつどい
- P4 川崎市地域教育会議交流会  
令和7年度住民委員募集

令和6年度活動報告

## ネットワーク会議 2025.2.25

地域教育会議所属団体

### 『多摩区役所 地域みまもり支援センター 学校・地域連携』



南 奈保美 様

#### こんな仕事をしています

学齢期の子どもに関する諸課題について、市立小中学校、関係諸機関、区役所等と連携し、情報共有、対応・支援を行っています。各区に配置されているので、緊急時すすぐに学校に駆けつけることができます。

- ◎**学校運営支援**・・・学校訪問(授業力向上、初任教員の指導・相談)、研修実施 など
- ◎**相談業務**・・・外国につながるの児童生徒などの就学相談、スクールソーシャルワーカーの派遣 など
- ◎**学校安全推進**・・・通学路安全会議の開催 など
- ◎**感染症の対応**・・・感染症に関する情報提供、臨時休校の相談 など
- ◎**幼保小連携推進**・・・小学校入学へ向けた幼稚園・保育園と小学校の架け橋プログラム取組推進 など
- ◎**災害時の対応**・・・避難所運営のサポート など

参加者で意見交換をしました

「学校・地域連携」という名称だけど、最近の学校と地域には距離を感じる気が...

- 昔と比べると、安全面への配慮があり、地域と学校がつながりにくくなっているように感じます。まずは、地域の大人同士がつながりを持つことで、学校と連携しやすくなり、さらに子どもたちも安心して地域の大人とつながっていくことができるのではないのでしょうか。これにより、地域の見守り活動の強化や学校運営の協力など様々な問題が解決できる気がします。
- 家族以外との関わりが増えてくる小学3、4年生をターゲットにして、地域の大人が子どもとつながるきっかけを持つのもいいと思います。
- 学校に通えない児童生徒の居場所として、教育相談センター管轄の「ゆうゆう広場たま」や「川崎市子ども夢パーク」「こども文化センター」などがありますが、地域によって行きづらかったり、スタッフ不足であったり、周知が十分ではないという課題があります。

教育に関する学習会やグループ活動の情報、ご意見など、多摩区地域教育会議あてにお寄せください

**多摩区地域教育会議事務局**  
(多摩市民館内)

〒214-8570 多摩区登戸1775-1  
TEL: 044-935-3333 FAX: 044-935-3398  
Email: chikyou95tamaku@gmail.com

かたる一む

# 語 room

令和6年度から始めたイベントです。

リラックスした雰囲気の中で育児の悩み、地域、社会の課題などを語り合います。互いに共感することや、違う視点を発見することで、参加者同士のつながりを持つことを目的としています。

申し込み不要、出入り自由、気軽に参加できるイベントです。

## <これまでの開催日>

2024年

第1回 9/27(金)

第2回 11/29(金)

2025年

第3回 2/1(土)

第4回 4/27(日)

今後の開催は、多摩区HP内 多摩市民館の“事業のお知らせ”やかわさきイベントアプリでお知らせします。

かわさきイベントアプリ



語room特別企画

# チョモランマ山下の

## ボードゲームでファシリテーター講座

令和7年2月1日、第3回 語room を開催しました。約20名の参加者が集まり、午前中はファシリテーター講座、午後はボードゲーム会が行われました。

### ファシリテーターとは？

会議を円滑に進める人のことです。参加者の意見を引き出し、内容を深めたり、整理をしたりします。話し合いの内容によっては結論まで導くこともあります。

### 上手にファシリテーターを務めるには？

物事を“教える”ということは知識を共有することです。これはAIにも務めることができます。似たような言葉に“伝える”というのがあります。これは、相手の心情に語りかけることです。これによって共感を得ることができます。さらに、共感することで他人に伝えたくなり、共感の輪を広げることにもつながります。

スムーズな話し合いにするために、ファシリテーターは、相手の心に語りかけて意見を引き出すことが大切です。これこそが人のなせる技です。

### ボードゲームを使ってファシリテーターを体験しよう

- 1、ゲームのインスト（ルール説明）  
ゲームの情報を伝える  
どんなゲーム？ 遊び方は？ 勝利条件は？
- 2、タイムキーパー  
時間という質をうまく活用させる  
制限時間を決めて、ドキドキ感を演出
- 3、場の雰囲気づくり  
肯定的な声かけを意識する  
一緒になって喜んであげる  
相手のリアクションを見て、特性を見分ける  
(ムードメーカー、おとなしめの人など)



### 午後は大いにゲーム体験

午前中の講座を参考に、参加者同士、ポジティブな声かけを意識して、10種類以上のゲームを体験しました。ゲームを紹介することで、性別、年齢を越えて、参加者がフラットに楽しめるという経験をしました。

最後はみな笑顔で、会場があたたかな雰囲気になっていました。



ゆめパ  
のじかん上映会  
&  
意見交換会

令和6年度「教育を語るつどい」を3月16日に開催しました。  
今年度は、高津区の「川崎市子ども夢パーク」を題材にした映画を上映しました。  
小学生から大人までご参加いただき、上映後は参加者で意見交換を行いました。

## 映画の紹介

高津区津田山にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」＝通称「ゆめパ」。  
遊んで、転んで、立ち止まって…誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、  
子どもたちのかけがえのない“じかん”を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリーです。

## 川崎市子ども夢パークとは

「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに  
官民協同で作られました。広大な敷地にはプレーパーク  
エリア、音楽スタジオや創作スペース、学校に行っていない  
子どものための「フリースペースえん」が開設されています。



## 映画を見て感じたこと ～ 意見交換、アンケートから ～

## 感想

- ・土や草木、生き物に触れるなど、五感や手指を使うことは大切で、ゆめパはそれが可能な場所。市民として子どもの居場所が提供されているのが嬉しかったです。
- ・自分が自分でいられる場所、正解がなく何をやってもいいところ、認めてくれるところがあるのはとてもいいと感じました。
- ・ゆめパは遊ぶだけでなく、勉強もできる場所なんだと分かりました。（小学生）
- ・子どもの成長、人間の育ちについて語り合うための材料として、優れた教材になると思いました。

## 映画を見て考える、子どもの居場所と大人の学び

- ・子ども自身が失敗から“生きる力”を学ぶために、まずは大人が見守る力をもっと養うべきだと思います。
- ・ゆめパでのびのびと過ごしている中で、どのように“がまん”や“やるべきこと”を学ぶのか疑問でしたが、自分のやりたいことを実現するためには、学ぶべきことがあると子ども自身が気がつくと思います。大人は信じてあげることが大切だと思います。
- ・学校と家庭以外のゆめパのような第3の子どもの居場所は必要です。学校現場でも、教室に入れない子を他の教室や校庭などで受け入れる専門の職員を配置しているところがあります。限りある資源を活かすために、もっと学校内でも新たな居場所ができるといいです。（そのための人材確保も）
- ・子どもも大人も多様性を受け入れることは必要ですが、まだ理解しきれていないと思います。大人はPTAや地域の活動などの社会教育を通して学ぶべきだと思います。

教育を  
語る  
つどい

互いの違いを理解することで、人とつながり、地域づくりへと発展していきます。

そのために、大人も生涯学びが必要です。

“教育を語るつどい”では、地域づくり、人づくりに貢献するため、主に子どもの育ちや、それを取り巻く環境について考えます。

講演会や、映画の上映会を開催し、参加者の皆さんと意見交換を行っています。



上映会



意見交換会

多摩区  
にて  
開催

令和7年3月1日、令和6年度の川崎市地域教育会議交流会が多摩区にて開催されました。

この交流会は、川崎市の全中学校区・行政区に参加を呼びかけ、開催しています。参加した団体は展示物を作成し、今年度の活動を紹介しました。全体会議では、行政区議長会も参加する川崎市地域教育ネットワーク推進会議において、次期かわさき教育プランについて話し合われたとの報告がありました。その後、中学校区と行政区がそれぞれ小グループに分かれて、意見交換を行いました。中学校区では、“各活動が社会教育と学校教育のどちらに重きをおいているか、または目指しているか”“学校運営協議会と地域教育会議がどのように関わっているか”などが話されました。行政区では活動の紹介や、“今後どのように地域教育会議の活動を広めていくか”などの課題について意見交換がなされました。

## 多摩区地域教育会議 第16期 住民委員募集！

**“子どもも大人も豊かに成長できる環境づくり” にあなたの力がが必要です**

地域教育会議は、学校、家庭、地域の連携を推進し、地域の教育力の向上を図る市民と行政の協働活動組織です。

学校や家庭以外の広く社会で行われる教育“社会教育”を通して、人との違いを理解し、人づくり、地域づくりに貢献できるよう、日々活動しています。

具体的には、地域の教育課題について、住民、保護者、行政関係者が一堂に会して話し合う「教育を語るつどい」や 区内中学校区との意見交換をする「交流会」の開催、子どもたちが意見表明できる機会「子ども会議」の支援、広報紙「ちえの輪」の発行などを行っています。

お申込み、お問い合わせ

TEL : 044-935-3333

多摩区登戸1775-1

Email : chikyou95tamaku@gmail.com

多摩市民館内 多摩区地域教育会議事務局まで